

清流の国ぎふ芸術祭

Art Award IN THE CUBE 2017

開催記念トーク in 京都

「身体のゆくえ」—岐阜から始まるアートアワード

岐阜県は、今年4月、想像力あふれる新たな才能の発掘と育成を目的に、「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE (AAIC) 2017」をスタートさせました。

この革新的な企画公募展を広く知っていただくため、審査員の一人である中原浩大、テクニカルアドバイザーの佐野誠を囲んでトークイベントを開催します。

1 トークセッション1 「身体のゆくえ」

中原浩大 × 青木正弘 × 安藤泰彦

AAIC 審査委員である中原浩大を迎え、第一回のテーマ「身体のゆくえ」をベースに、さまざまな観点からアートと身体について探ります。

2 トークセッション2 「アーティストとテクニカルサポート」

中原浩大 × 佐野誠 × 安藤泰彦

国内外の現代美術の設営現場で活動する佐野誠を中心に、現代美術の表現が多様化するなかで、欠かせない存在である施工技術者とアーティストの協働について語ります。また、AAIC の出品者に対するサポートについてもお話しします。

3 Art Award IN THE CUBE 2017 説明会

本公募展の企画委員会委員長の桑原謙司より、応募の条件や方法、展示についての説明を行ないます。具体的な質問等を受け付けますので、応募を検討されている方はぜひご参加ください。

青木正弘 美術評論家、元豊田市美術館副館長、AAIC 2017 企画委員

安藤泰彦 現代美術家 [KOSUGI+ANDO]、情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 教授、

AAIC 2017 企画委員

桑原謙司 画家、AAIC 2017 全面委員会委員長

日時 | 2016.6.5 [日] 13:30 — 15:30 (受付は13:00より開始)

参加費 | 無料 (事前申込不要、先着50名程度)

会場 | MTRL KYOTO [マテリアル 京都]

〒600-8103 京都市下京区本塩竈町 554 mtrl.net/kyoto | TEL 075-708-2015

JR 京都駅から徒歩 15 分 | 京都市営地下鉄烏丸線五条駅③番出口から徒歩 7 分

阪急電鉄京都線原町駅から徒歩 10 分 | 京阪電鉄清水五条駅①番出口から徒歩 2 分

京都駅から 4・17・205号系統 五条河原町下車徒歩 3 分



中原浩大

彫刻家、美術家／

京都市立芸術大学教授

1961年、岡山県生まれ。ドローイング、立体、映像、パフォーマンス、インスタレーションなど多岐にわたる表現方法をもち、彫刻概念の拡張を試みてきた。90年代以降は、現代の社会における芸術活動の“Another Model”(別なかたち・在り方)についての脱領域的アプローチによる模索と試行をかさねている。また、個人での制作研究活動の他、共同研究・プロジェクトなどにも積極的に携わっている。AAIC2017 審査員。



佐野誠

美術施工技術者／

スーパー・ファクトリー代表

1955年、広島県生まれ。東京、マシュー・バーニー、エルネスト・ネト、オラファー・エリ亞ソンらさまざまなアーティストの作品制作、展示施工で協働。横浜トリエンナーレはじめ、多くの展覧会の施工を手掛ける。AAIC 2017 テクニカルアドバイザー。



MTRL KYOTO

HAPS

主催 | 清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 実行委員会、岐阜県 協力 | MTRL KYOTO、東山アーティスト・プレイスメント・サービス (HAPS)

問い合わせ先 | 清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 実行委員会事務局

〒500-8570 岐阜県岐阜市萩原南 2-1-1 (岐阜県環境生活部文化振興課内) | TEL 058-272-8378 | FAX 058-278-2612 | Email office@art-award-gifu.jp

清流の国ぎふ芸術祭

Art Award IN THE CUBE 2017 作品募集

第1回テーマ

応募受付期間

作品条件

「身体のゆくえ」

2016.4.11 [月] — 7.8 [金]

4.8m (幅) × 4.8m (奥行) × 3.6m (高さ) の空間に作品を設置

作品展

岐阜県美術館 2017.4.15 [土] — 6.11 [日] (予定)

art-award-gifu.jp